

果物にはいろいろな	効能があるので、健康	のためにも積極的に取	りたい食材である。同	40
じ農作物でも、野菜は	サラダにする以外は加	熱して食べるが、果物	はほとんど生のままで	80
ある。素材そのものを	直接摂取するので、産	地や品質に関してより	敏感でいたい。そして	120
いちばん大切なのは、	その季節の旬のものを	口にするということ	である。なぜなら、栄養	160
価が高いだけでなく大	量に生産していて、手	ごろな値段で気兼ねな	く買えるからだ。また	200
人間の体は、季節に応	じて欲している効能が	あり、特に旬の果物に	はその役目があるとい	240
われているので多めに	摂取したい。例えば、	夏はすいか、メロン、	さくらんぼなどがおい	280
しく、体を冷やす効果	がある。秋冬は体を温	め血液の流れをよくす	るりんごやかき、春は	320
冬の間にたまった毒素	を排出する効果のある	いちごなど、旬の果物	には季節に応じた役割	360
が備わっているの	である。←			373
店頭で選ぶときに気	をつけないことは、青	いうちに収穫されたも	のではなく、なるべく	413
木で熟した商品を見極	めることだ。成熟した	果物は、発芽の生命力	に満ちている。太陽を	453
しっかり浴びて、ビタ	ミンやミネラルを豊富	に含んでいるので、一	口食べるとびっくりす	493
るほど甘く、うまみが	口いっぱいに広がるは	ずだ。←		517
さて、朝食に果物を	取るとよいといわれる	が、これはなぜだろう。	胃が空っぽの状態	557
果物を食べると栄養素	が腸で吸収され、ぶど	う糖となって脳に伝	わり活性化される。する	597
と、集中力を高めるこ	とができ、精神も安定	してくるからだ。果物	が勉強やスポーツの直	637
前に向いている食べ物	といわれるのも、こう	した理由からである。	一日の摂取量は200	677
グラム以上を目安にす	るとよい。みかんなら	2個、りんごなら1個、	いちごなら8粒くら	717
いの量なので、それほ	ど大変ではないだろう。	毎朝、新鮮で安心で	きるものをきちんと食	757
べていれば、胃腸のも	たれや疲れもなく、健	康で心穏やかな毎日	を送ることができる。果	797
物は万能で、わたした	ち人間を幸せにしてく	れる大地の恵みなので	ある。	830

きらめく太陽とどこまでも続く海、緑豊かな山に真っ青な空など、夏の旅行は気分が開	40
放的になるものだ。小学生のころは、こんな風景を見ると心がうきうきしたものである。	80
朝一番に外に出掛けて一日中遊んで帰ってくると、真っ赤に日焼けした顔を鏡で見てびっ	120
くりすることがよくあった。新陳代謝が早い年齢だったからか、そのほてりは一晩寝れば	160
ほとんどなくなり肌は浅黒くなっていた。ところが、最近はオゾン層の破壊が社会問題と	200
なっており、大人はもちろん、子供にとっても過度に肌を焼くことは悪影響を及ぼすこと	240
が研究などで解明されているようだ。赤ちゃん用の日焼け防止クリームが発売されている	280
ほどである。↓	287
さて、この対策はいつごろから始めればよいのだろうか。太陽の光が強くなる夏はもち	327
ろん必要だが、春先から始めたほうがよいという研究者もいる。ちょうど日ざしが暖かく	367
なる4月ごろから、紫外線は急に強くなってくるのだ。↓	393
太陽光線の一種である紫外線は三つに分けられている。この中で地上に届くのはUVA	433
とUVBで、化粧品のコマーシャルなどで聞き覚えのある人もいるのではないだろうか。	473
波長や量、強さの違いから、肌への影響も異なってくる。前者は表皮を通過して真皮まで	513
到達し、ダメージを与える。そのため真皮に悪影響を及ぼし、張りや弾力の低下を引き起	553
こす原因となる。後者は日焼け光線とも呼ばれ、しみ、そばかす、乾燥の原因となり、表	593
皮に炎症を起こさせ赤くほてらせる。UVBのダメージがメラニンを生じさせてしまい、	633
数日後に肌が黒くなる。↓	645
では、うっかり日焼けをしてしまったときの応急処置だが、せっけんをしっかりと泡立	685
て、こすらないように優しく丁寧に洗う。その後ローションを全体につけてから、氷水に	725
浸しておいたタオルを絞って顔に置き、表面を徹底的に冷やす。これを何度か繰り返し、	765
ほてりが少し治ったら、もう一度水分を補給し、最後に化粧用または赤ちゃんの保湿用	805
のオイルをたっぷり塗る。これで、肌へのダメージは最小限に抑えられるそうだ。	843

物を接合するには、	素材や用途によって多様な方法があります。	例えば、板にくぎを打	40
ちつけて留めるのもその一つです。また金属	はボルトで締めたり、	部分的に溶接したりす	80
ることもあります。さら	にれんがを積むとき	などは、間にセメント	120
せることで固定します。	そうした中で、最も	広く活用されているも	160
しょうか。家具や建材	などの木工関連をはじ	め、繊維や履物、自動	200
に至るまで、さまざま	な分野で欠かせない存	在となっているそうで	240
がりが美しく、さらに	近年では耐久性もかな	り高まっているような	280
はさらに広がることで	しょう。↓		295
このように聞けば、い	かにも先進的な印象	を受けますが、その歴	335
源をたどれば、紀元前	3800年ごろまでさ	かのぼります。当時の	375
作のために用いていた	接着剤は、なんと天然	のアスファルトだとさ	415
み出してきた原油が、	酸化して固まった物	ではないかと考えられて	455
ろに作られたと推定さ	れるれんがを見たとい	うある研究者は、厚さ	495
及ぶ大量のアスファ	ルトが付着していたと	著書に記しています。日	535
跡の中から同じよう	な方法で接合された武	器が発見されているよう	575
の補修に使われた跡	も残っているそうです。	さらに漆器の塗料とし	615
技術が発達する前は	接合するためだけに使	われていたそうです。ほ	655
煮出した液から採	れるにかわ、ご飯や小	麦粉から作るでんぷん	695
然や生活の中からさ	まざまな接着剤を生	み出してきました。↓	723
そして20世紀初頭、	それは初めて工業的	に利用されました。生	763
です。木材の表面を	むくようにそぎ、何枚	も重ねて接着剤で張	803
直径が小さくても、	面積の広い素材とし	て活用できるようにな	843
け継がれてきた知恵	の結晶といえるので	はないでしょうか。	870

豊かに四季が巡る日本では、古来よりその時期に応じて、暮らしを守るさまざまな知恵	40
がはぐくまれてきました。例えば、食べ物を長く保存できるようにしたり、大切な住まい	80
の空間を快適にしたりなど、厳しい気候と上手に折り合って自然とともに暮らした人々の	120
知恵に思わず感心させられます。特に、寒さの厳しい地方の冬の生活には、そんな先人た	160
ちの創意工夫があふれています。◀	176
縁側といえ、のんびりとひなたぼっこをしたり、近所のかたとおしゃべりを楽しんだ	216
りなどのイメージがありますが、一昔前は保存食作りの場としても大活躍していました。	256
特に冬の間は新鮮な野菜が手に入りにくかったので、人々は秋に収穫したものをなるべく	296
長く保存して大切に使うさまざまな工夫をしていました。中でもシンプルな方法が天日干	336
しです。収穫した野菜や果物を、乾きやすいように切ったり、わらでつるしたりしてひと	376
手間かけ、庭や軒先にずらりと並べました。天気の良い日に干さなければならぬため、	416
雨が降れば慌てて取り込んで、まるで洗濯物のようなようだったそうです。こうして太陽の恵み	456
をたっぷり受けた食材は、みそ汁や煮物となって食卓に上がり、寒さで冷えた体を温めて	496
くれる冬のごちそうだったのでしょう。自然を上手に生かして天日干しにしたり、冷たい	536
風にさらしたりできる冬の保存食作りは、秋に入るとあちらこちらの家の縁側で見掛けら	576
れた暮らしの風景でした。◀	589
また、昔は近隣の人とお茶を飲んだり、家族だんらんの間だったりと縁側が活躍してい	629
ました。家の外でもなければ内でもないという日本独特の住宅構造は、夏には夕涼み、秋	669
には月見、冬には心地よい日だまりの場所として親しまれ、大切にされてきました。しか	709
し今では、縁側を設ける家も少なくなり、日本の伝統的なものが少なくなったと嘆かわし	749
く思う人もいます。しかし、考え方を柔軟にすれば、現代の縁側ともいえるウッド	789
デッキや、和のテイストを生かしたリビングなどをしつらえる家も増えています。それは	829
きっと今も昔も、わたしたち日本人のおもてなしを大切にする気持ちに変わりないからな	869
のでしょう。	875

10	20	30	40
50	60		71
81	91	101	111
121	131	141	151
161	171	181	191
201	211	221	231
241	251	261	271
281	291	301	311
321	331	341	351
361	371	381	391
401	411	421	431
441	451	461	471
481	491	501	511
521	531	541	551
561	571	581	586
596	606	616	626
636	646	656	666
676	686	696	706
716	726	736	746
756	766	776	786
796	806	816	826
836	846	856	866
876			877

よく日本語はあいまいであるとか、論理的でないといわれる。だが、語いも文法も異なる外国語と比較してこのように主張してみてもあまり意味がない。ふだんの会話でも書かれた文章でもよいが、言葉が論理的であるとは、前にいったことと次に述べること、文と文との関係に整合性があることである。日本語でそのつなぎの役割を受け持っているのが接続詞だ。友人と話しているときに、それはどういうことかと聞かれれば、それはつまりと応じ、例えばといって具体例を出す。相手と違う意見を述べるときは、しかしを使って話を転換する。このような、つなぎの言葉をうまく使うことで対話を展開していく。論理とは言葉と言葉の関係にほかならない。だから、自分でエッセーや小論文を書くときは、接続詞に注意すると引き締まった筋道の通った文章になる。本を読むときもこれに注意して文章や段落の接続関係を追っていくと、筆者の論点を見失うことがない。↓	40
ただし、使い過ぎると文章の自然な流れを切ってしまう場合があるので注意が必要だ。一般的に小説家は、接続詞を嫌う人が多いようだ。それはあまり理詰めの表現だと、読み手の想像力を奪ってしまうからだ。文章の余韻や含みを持たせて、いろいろに解釈できるようにするのが小説という芸術の一つの特徴である。だから、作家の中には、推こうの段階で可能な限り削ってしまう人もいる。小説だけでなく、エッセーなどでもこれは重要なテクニックだ。↓	435
では、具体的に論理的な文章を書くために何かよいトレーニング法はないだろうか。わたしは、新聞の社説を使うことを勧めている。特に接続の表現に注意しながら読んでいくのである。5分か10分もあれば読むことができ、日替わりで話題が違うので飽きることも少ない。文章の表現力や読解力が身につくだけでなく、時事的なテーマについての理解が深まるので一石二鳥だ。↓	475
論理力とは自分の考えを、筋道を立ててきちんと伝える力のことであり、また他者の言葉を的確に読み取って評価することである。これは、トレーニング次第でだれでも手に入ることができる。ぜひ、接続詞の使い方を身につけて、作文や議論をするときに役立ててほしい。	515
	555
	595
	603
	643
	683
	723
	763
	776
	816
	856
	896
	901

いたずらっ子が主人公の漫画などには、し	かり役として、近所に	住む頑固な老人が登場	40
することが多いように	思います。これは個人	的なイメージですが、	80
専用の台の上に、手入	れされた盆栽が並べら	れています。そこへ主	120
たちが空き地で遊んで	いた野球のボールが飛	んできて壊される、と	160
ような気がします。も	ちろん主人公はその後	、老人に大声でどなら	197
このように盆栽はわ	たしにとって、長い間	、漫画などの世界に存	237
た。ところが最近、お	しゃれな輸入家具の店	に飾られているのを目	277
た、さまざまな小物類	が所狭しに並べられた	雑貨屋でも、値札をつ	317
を発見しました。↓			326
そもそも、盆栽とは	どういうものなのか分	からないので、自分な	366
しました。その起源は	古代中国にまでさかの	ぼるとされています。ある有名な女帝の息子	406
が埋葬されている墓の	壁画には、植木鉢を持	つ女官が描かれており、そこには花々と一緒	446
に石が置かれています	。この絵が表している	のが、盆栽の原形では	486
ます。日本へは平安時	代の末期に、中国を見	聞した禅僧が伝えた	526
来、貴族や権力のある	武士たちに愛され続け	、やがてその人気は庶	566
戸の園芸文化へと受け	継がれていったので	す。さらにそれらは、浮	606
海外にも伝わり、欧米	をはじめとする各国	には、今も愛好者が少	645
床の間や庭にしつら	えた台の上に飾られて	いる鉢に、大きくねじ	685
いるのを見たことはな	いでしょうか。こうし	た湾曲は、職人の技術	725
金などを巻きつけるこ	とで変形させているよ	うです。理由は、古木	765
す。その根底には、自	然の中で長い年月を過	ごした生物だけが持ち	805
がれがあるとされてい	ます。樹木は、それぞ	れが自生する風土気	845
ながら育ち、変化して	いきます。つまり小	さな鉢の上に、こうし	885
の形を表現することで	、その背景にある自然	そのものを浮かび上	925
が盆栽なのです。			933

塩の用途は、調味料	としてだけではないこ	とをご存じだろうか。	現在の文明社会では、	40
なくては成り立たない	ほど大切な物で、関連	した製品は日常生活の	中に驚くほどあふれて	80
いる。大まかに分けて	5 種類あり、化学工業	の原料として用いられ	たり皮革の脱水などに	120
使われたりする工業用	や融冰雪用、医療用、	動物飼料用、そして食	用が挙げられる。ここ	160
では生活に密着した例	を紹介してみよう。↓			180
最初に説明するなら、	食用である食べ物の	味付けが親しみやすい	だろう。食材そのもの	220
が持っている味わいに、	塩味をプラスすること	でおいしい一皿になる。	すいかを例にとる	260
と分かるように、少量	の塩を加えることによ	って、しょっぱさとは	反対の、素材が持つ甘	300
さが引き立つという使	い方もある。また、料	理の見栄えをよくする	ために、上からふりか	340
けて化粧するという専	門技術もプロの間では	用いられている。↓		369
次に食品保存のため	の用途が挙げられる。	大根やきゅうりなどの	野菜の漬物、海藻や魚	409
介類の干し物、生ハム	などがその商品である。	そして、わたしたち	日本人にはなじみの深	449
いみそやしょうゆなど、	多くの発酵食品にも	使われていることはよ	く知られている。いし	489
るやしょつつるといっ	た魚のしょうゆ、くさ	やもこの分類に入る。	さらに、チーズやパン	529
も同じである。このほ	か、ソースやマヨネー	ズといった調味料、う	どんやそうめんなどの	569
小麦粉製品、ちくわや	ハムなどの加工品など	にも使われる。↓		597
さて、これだけ用途	が多い理由は、研磨剤、	強電解質、浸透圧、	溶解度、結晶形状、氷	637
点降下、比熱などとい	った塩の持つ性質が極	めて幅広いからである。	ではこれらの化学的	677
特長を生かして、暮ら	しに効果的な使い方を	挙げてみよう。キッチン	のなべの汚れがひど	717
いときは、酢を浸した	ティッシュペーパーを	張り、しばらく置いて	からスポンジに塩をつ	757
けてこすると、きれい	になる。焦げついてし	まった場合は、熱いう	ちにふりかけて水をつ	797
けないブラシでこする	とよく取れる。湯飲み	やきゅうすの茶渋を落	とすのも同じ方法でよ	837
いそうだ。のどや鼻の	うがいをするときは、	塩水ですると風邪を引	きにくい体になるとい	877
われている。このほか	にも、口内炎の患部に	擦り込むと効くとか、	歯茎のマッサージにす	917
るとよいなど、いろい	ろな説があるようだ。			937

わたしたち日本人は	今、世界中で最も多彩	な物を食べられる民族	だといえるかもしれま	40
せん。町を歩けば、各	国の料理を提供する店	が軒を連ねています。	また、家庭にはカレー	80
やコロッケ、フライと	いった和洋折衷ともい	える独特の献立がしつ	かり定着しています。	120
中でも、以前からわた	しが不思議に思ってい	たのが豚カツです。と	いうのも、食堂や専門	160
店などでは、あらかじ	め包丁で切った状態で	皿に盛られ、ご飯やみ	そ汁とともに出てくる	200
ことが多いのに、洋食	店などでは、焼いた食	パンに挟んだサンドイ	ッチが人気を集めてい	240
ます。また、めん類な	どを扱うお店では、玉	子でとじたどんぶりも	のに姿を変えて、品書	280
きに名前を連ねている	のをよく見掛けます。	厚めの豚肉に衣をつけ	、油で揚げた料理は、	320
このようにジャンルを	超えて日本人に好まれ	ているようです。↓		349
そもそも豚カツとい	う呼び名は、骨付きの	背肉を意味するフラン	ス語に由来するとされ	389
ています。豚肉に塩と	こしょう、卵黄やパン	粉をつけて、両面をバ	ターで焼き上げた料理	429
が基になっているとい	う説もあるようです。	やがて明治28年、東	京銀座に開店した洋食	469
屋の主人が、それまで	大変手間のかかる作業	であった肉の加熱調理	に、大きな改良を加え	509
ました。その方法は、	天ぷらのように油で揚	げるというものでした。	また、刻んだ生キャ	549
ベツを初めて付け合わ	せに用いたのも彼だっ	たそうです。西洋料理	では一般的に、皿の縁	589
に温野菜が添えられる	ことが多いのですが、	あまりの忙しさに手が	回らなくなった調理場	629
で、とっさに思いつい	たアイデアを実行に移	したようです。しかし	このさっぱりした感覚	669
が日本人の好みに合い	、店は連日大繁盛した	とされています。この	時点では、肉はまだ薄	709
切りを重ねて揚げてい	たようですが、昭和4	年になると、いよいよ	現在と同じように分厚	749
いものが出回り始め、	人気店に長蛇の列がで	きることもありました。	このころ、食べやす	789
さへの配慮から考案さ	れたのが、揚げたての	豚カツを包丁で切って	から皿に盛り、はしと	829
一緒に提供するという	方法だったようです。↓			850
文明開化によって急速	な西洋化が始まり、	日本人が初めて肉を口	にするようになってか	890
ら、およそ60年とい	う長い時間をかけて完	成した豚カツという料	理は、もしかしたら多	930
くの人々が試行錯誤を	積み重ねた傑作なの	かもしれません。		957

1 級準 1 級速度模擬問題 1 0 (模範解答)

わたしたちが豊かで快適な生活を送るためには、自然とのかかわりが重要な課題といえ	40
ます。深刻な環境破壊が叫ばれる今日、人間にはエコロジーな生活が求められますが、一	80
方でこうした問題に深くかかわっているのが、自然とそこで暮らす動物たちです。↓	118
まずは海洋汚染ですが、どんなに海が広いといっても、その浄化能力は無限ではありま	158
せん。川からの汚水やタンカー事故などによって流れ出た油で汚れたり、ビニールやペッ	198
トボトルなど、人間が捨てたプラスチックごみを海洋生物が飲み込んだりするなどの被害	238
も出ています。少しでも海や川をきれいにするために、わたしたちにも実践できることが	278
あります。それは、家庭などから出る汚水をきちんと処理することです。特に、油は固め	318
て可燃物として捨てるようにしましょう。小さなことでも、みんなの心掛けで汚染を防ぐ	358
ことにつながっていくのです。↓	373
野生生物については、現在多くの種が絶滅の危機にさらされています。これは、人間の	413
商業目的の濫獲や密漁、さらに環境汚染や地球温暖化、砂漠化などで生き物たちがすむと	453
ころを失ってしまったことも原因の一つです。主に危機的な状況にあるのは、アフリカや	493
中南米、東南アジアの熱帯地域にすむゴリラやトラ、シロナガスクジラなどです。それら	533
を守るための世界的な取り組みとして、絶滅のおそれのある野生生物に対してはワシント	573
ン条約、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に対してはラムサール条約などがありま	613
す。動物たちを守るためには、世界中の人々がこうした約束を守って資源の使用を最低限	653
に抑え、森林など野生生物のすむところを守り、増やすことが大切です。↓	687
そして、地球上の生物の半数以上の動植物が生息している熱帯林が減少する原因には、	727
人口増加による過度な焼畑耕作、不適切な商業伐採などさまざまなことが考えられます。	767
発達した熱帯林では、雨が降っても土地が削られることはありません。山崩れや土石流を	807
防ぐなど、河川の水の量を安定させる機能もあります。さらに、二酸化炭素を吸収するな	847
ど、地球温暖化を食い止める役割も果たしているのです。それにもかかわらず、近年多く	887
の熱帯林が消失しています。そのため多くの野生生物の命も危ぶまれているのです。熱帯	927
林を守るためには、一人一人の心掛けと積み重ねが大切です。それが地球を守ることにつ	967
ながっていくのです。	977

1 級準 1 級速度模擬問題 1 1 (模範解答)

世界には土で作られた家が数多くあります。なぜなら、暑い昼間は外気の温度を吸収し	40
て内部を涼しく保ち、寒い夜には熱を放散して室内を暖かくする力がその素材そのものに	80
あるからです。さらに、風や音を遮断する性質にも優れています。木の住宅が多い日本で	120
も、昔は壁だけは土を用いることが少なくありませんでした。土壁は調湿、断熱機能のほ	160
か、衛生的で健康にもよい素材です。塗りの技法もいろいろあり、こて使いによって仕上	200
がりに変化をつけることができます。そして何より職人が現場で天気や気候、その家の日	240
当たりといった自然環境に合わせながら作り出す生きた壁ともいえます。◀	274
世界の民家に関することを調べてみると、土の家は木や石があまり手に入らない、乾燥	314
した地域で多く作られてきたことが分かります。砂漠のようなどころでも、雨期の川べり	354
に残った土に家畜のふんを混ぜれば、簡単に建築材ができるのです。また人間は、これを	394
木枠に入れて干すことによって、れんがを作り出しました。これによって、猛獣などの外	434
敵から身を守ることができる家を完成させたのです。たとえ何も材料がなさそうな場所で	474
も、人間は知恵と工夫で快適かつ安全な住まいを作ろうとしてきました。その代表ともい	514
えるのが土の家です。◀	525
また、日本は古来より木の文化を持つ国だといわれています。世界最古の木造建築、法	565
隆寺に代表されるように、先人たちは身近にある材料と職人の技や知恵を用いて千年以上	605
ももつ建物を作り上げました。今でも、田園や山里の風景に見事に調和する伝統的な民家	645
が点在している地域を歩いていると、昔ながらの土壁を塗る建築現場に出くわすことがあ	685
ります。しかし、こうした風景にお目にかかることは最近では少なくなり、工業生産化さ	725
れた家があっという間に完成していく光景を多く見掛けるようになりました。そうした住	765
宅が連なる場所は、日本の原風景そのものを崩していく要因となっているのかもしれませ	805
ん。さらに、工業生産化された住まいが増えることは、戦後植林され、伐採時期に達して	845
いる近隣の山林の荒廃を招いているとともに、地域経済の衰退にもつながっています。近	885
くで取れる自然材料を使用するということは、そうした問題を解決するとともに、製造過	925
程や輸送にかかるエネルギーを大幅に減らすことができ、まさに急務といわれている温暖	965
化防止にも大きく貢献することができるのではないのでしょうか。	994

1 級準 1 級速度模擬問題 1 2 (模範解答)

省エネブームで、エコカーや電気代を節約できる電気製品が人気だという。そのせいで	40
はないと思うが、言葉の省略も流行しているようだ。地上デジタル放送が地デジ、新型インフルエンザが新型インフルと、ニュース用語でさえすでに短くされている。もっともこれは昔からあることで、その当時は新型流感などという言葉が使われていた。流感とは流行性感冒の省略形で、特定のウイルスによって起こる呼吸器系の炎症、すなわちインフルエンザのことである。それにしても、最近はこのような省エネ語が特に目立っているように感じられる。↓	248
新聞や週刊誌は言うに及ばず、政府や役所関係も多い。経済産業省が経産省、臨時行政調査会が臨調などと、記者会見を聞いていても元の言葉を知らないという意味が理解できないこともある。特に、行政の用語は内容をそのまま文字にして表現してあることが多く長くなりがちである。しかし、もともと漢字には高い造語能力があり、日本は明治になって科学や技術、経済や思想に関する西洋語を翻訳するとき、これに対応する新語を作り出すことができた。だから、漢字を組み合わせた用語が略されていると、ある程度の意味は分かる。しかし、困るのは元の言葉が外国語で、それが略された場合である。メアドやアメカジなどは、初めて聞いたときに何のことか分からなかった。前者はメールアドレス、後者はアメリカンカジュアルを短くしたものである。こういった語の中には、いつかの流行ですぐに消えてしまうものもあるが、広く使われて残る場合も多い。コンビニやバイトなどは、すでに日本語として定着したようである。外国語が短縮されると分かりにくい理由は言葉そのものになじみがなく、元の単語を知っていないと理解できないからだ。また、コンビニエンスストアのように一語が長い場合は、省略される傾向がある。過去に日本語に入った外来語の例を調べてみると、4音以下に略されている場合が多い。ハンカチーフがハンカチ、パーソナルコンピューターがパソコンなどの例がある。↓	840
エネルギーの節約は地球環境のためにも大歓迎だが、言葉の省エネは時と場合による。ある評論家が言っていたように、日本の文化には省略の美学という特徴があった。ごくごくでと過剰に装飾するのではなく、余計なものを極限までそぎ落としたものに美を発見する心である。言葉にも、わびさびの感覚を生かした省略の美学があつてほしいものである。	999